



また、生涯学習の拠点である図書館への電子図書館システムの導入準備を進めていきます。

茶業については、スマート農業の実践者から取組を学ぶスマート農業導入研修会を開催することで、茶園管理の効率化の推進や市内の茶生産手法の改革に取り組みます。

コロナ禍による将来の不安や経済的な心配から結婚や妊娠を控える傾向が進むなか、全ての妊婦や子育て家庭に対して、必要な支援につなぐ伴走型相談支援に加え、出産育児関連用品の購入費助成などの出産・子育て応援金の支給を一体的に実施していきます。さらに、子育て家庭の経済的な支援を図るため、現行の「こども医療費助成制度」を拡充し、0歳から高校生年代までの医療費を完全無料化します。また、小笠北幼稚園の認定こども園化に向けた園舎の建設準備を進め、公立保育施設の役割を明確化するとともに、民間保育施設と連携して質の高い教育と保育を提供していきます。引き続き、安心して子どもを産み育てることができるようまちの実現に取り組んでいきます。

市民の安全・安心のさらなる推進

昨年度取りまとめた「菊川市防災対策強化事業基本構想」に基づき、大雨による浸水被害が頻発する市南部地域において、黒沢川・棚草川に隣接する区域への雨水貯留施設の建設に取り組みます。本年度は、岳洋中学校の校庭などを利用した校庭貯留施設の整備に向け、施設の詳細設計を実施します。また、市役所本庁舎敷地一帯の防災機能を高めるため、老朽化した堀之内体育館を建て替えるとともに、災害対策本部棟を新築します。

両施設を一帯的に整備することにより、災害時には「災害支援拠点」としての機能を持たせ、被災者支援資機材の備蓄、実動機関などの待機施設としても活用します。

南北を繋ぐ主要路線である掛川浜岡線小笠バイパスの改良工事を引き続き進め、市民の皆さんが快適に暮らすための幹線道路としてだけでなく、火災・救急・大規模災害など各種災害時における緊急輸送路としての基盤強化も図ります。豪雨による朝日線アンダーパスの冠水対

応として、道路状況を運転手に知らせることができる冠水ボラードを設置し、冠水した道路への進入を防ぎ、安全を図っていきます。併せて、市内の河川に堆積した土砂の浚渫工事を実施し、排水路の流下能力を確保することで、浸水および冠水対策を行います。

防災基盤強化のほかに、災害情報の収集・整理のデジタル化にも取り組んでいきます。災害発生時の情報収集手段については、SNSに投稿された不特定多数の災害情報をAIでリアルタイムに整理するシステムを本年度試行的に導入します。

未来を担う子どもたちが元気で安全・安心に育つ環境づくりも引き続き行っていきます。小笠北小学校・岳洋中学校、六郷小学校の児童・生徒の通学路の道路改良工事を実施し、安全に通行できるよう道路環境の整備を進めます。併せて、六郷小学校昇降口棟の耐震補強工事を実施するなど、学校施設の安全性向上を図り、教育環境の整備を進めます。

市民の皆さんが住み慣れた地域で安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

※施政方針の全文は、市ホームページ（下記）からご覧いただけます。

